

恵那市水道事業の 経営の見通し

令和元年10月

水道環境部上下水道課

1. 策定の趣旨

当市の水道普及率はほぼ100%に達し、既に給水区域の拡張から維持管理を主とした事業へ移行しています。

一方で、人口減少による給水収益の減少により今後の財政収支への影響が予想される中で、大規模地震や大型台風などの災害に対応するため老朽管、施設の更新及び耐震化など施設整備を進めていく必要があります。

このようなことを踏まえ、「安全で安心な水道事業を未来へ継承する」を基本理念に「恵那市水道事業経営戦略」を更新しました。

2. 計画期間

今回の計画期間は平成31年度から令和10年度までとし令和5年度に見直しを行います。経営戦略の基本方針及び平成31年度から10年間の料金収入や建設改良事業、資金収支などの見通しについて、説明していきます。

年度	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
計画期間										
収支計画										
計画更新					更新					

3. 経営の基本方針

I. 安心して飲める水の供給

水道水質検査計画に基づき、定期的に検査を行い安心して飲める水の供給に努めます。

II. 持続可能な健全経営

人口減少等による給水収益の減少を踏まえた財政計画に基づく事業経営を行います。

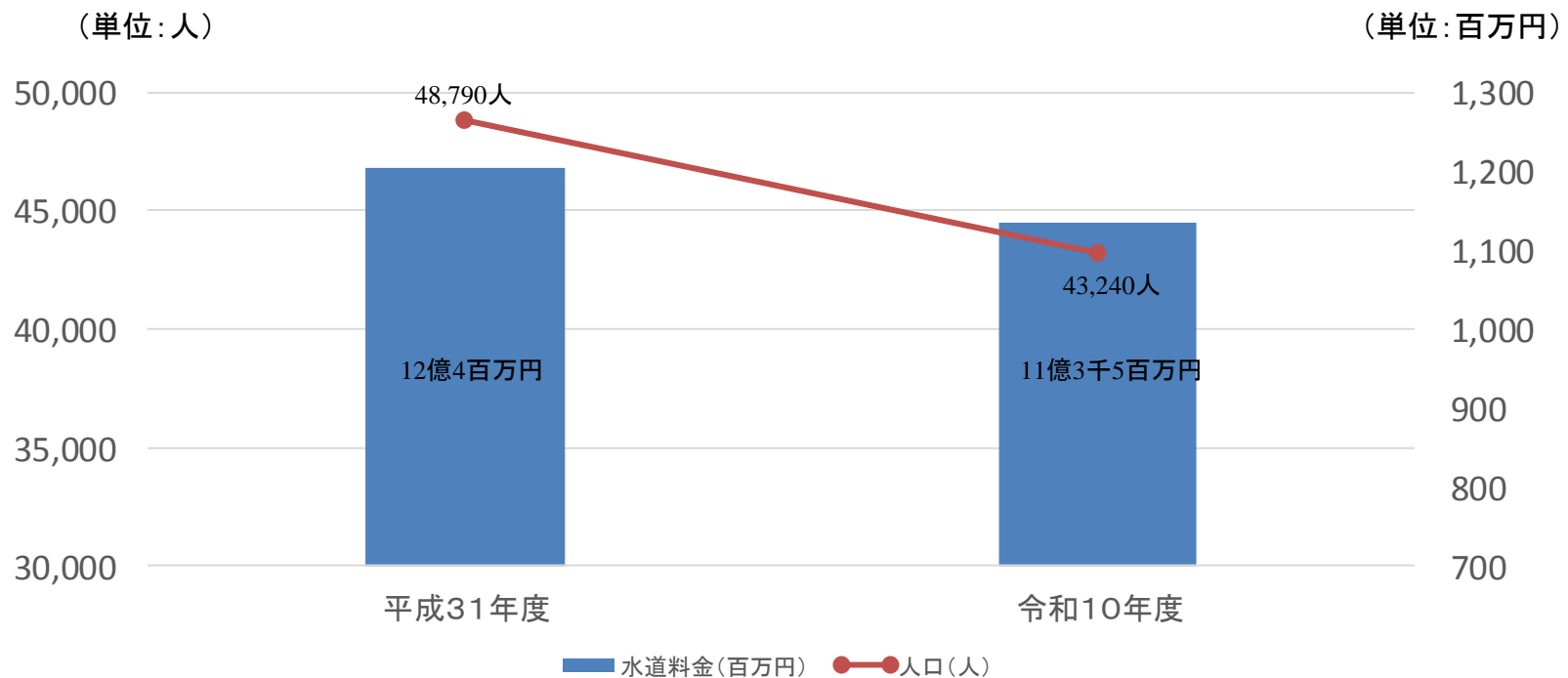
III. 危機管理対策

施設や管路の更新計画を策定し、管路の耐震化を進めるとともに、施設の更新を計画的に進めていきます。

4. 水道事業の経営について

(1) 市の人口と水道料金の見通し

人口については総合計画を基に推計を行い、水道料金について10年後には、約7千万円／年の減収になると見込まれます。



(2) 今後の建設改良事業

- ・基幹管路の更新を災害に強い管路としていきます。
- ・通信設備を更新、クラウド化による通信費や機器更新経費の節減を進めていきます。
- ・浄水設備の更新により動力費、維持管理費の節減を進めていきます。

平成31年度～令和10年度 41億6千5百万円投資

(3) 企業債残高の見通し

企業債の借り入れを極力抑え、金利負担を軽減

平成31年度末残高	令和10年度末残高
54億2千9百万円	21億8千3百万円

(4) 当年度純利益、繰越利益剰余金の見通し

令和2年度から収益は改善すると見込んでいますが、令和6年度以降収益は悪化していき、繰越利益剰余金は減少となる見込みです。

経営シミュレーション (料金改定をしない場合)

恵那市水道事業収支計画		実績 ← → 推計										(単位：百万円)		
		H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
収益的収支	収入	営業収益	1,228	1,222	1,228	1,222	1,215	1,207	1,199	1,191	1,183	1,175	1,167	1,159
		うち水道料金	1,213	1,208	1,204	1,198	1,190	1,182	1,174	1,167	1,159	1,151	1,143	1,135
		営業外収益	538	481	440	391	380	366	334	304	279	255	240	233
		うち長期前受金戻入	332	332	297	257	252	249	243	234	227	221	215	211
		経常収益	1,766	1,703	1,668	1,613	1,595	1,573	1,533	1,495	1,462	1,430	1,407	1,392
	支出	営業費用	1,657	1,634	1,591	1,491	1,471	1,450	1,442	1,409	1,393	1,384	1,374	1,367
		うち減価償却費	948	974	888	811	786	769	761	738	723	716	707	702
		営業外費用	144	121	112	100	91	82	73	65	57	51	44	40
		うち支払利息	123	114	106	92	84	75	67	58	51	44	38	33
		経常費用	1,801	1,755	1,703	1,591	1,562	1,532	1,515	1,474	1,450	1,435	1,418	1,407
経常損益		△ 35	△ 53	△ 36	23	32	41	18	21	12	△ 5	△ 11	△ 14	
特別損益		△ 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
当年度純利益		△ 40	△ 53	△ 36	23	32	41	18	21	12	△ 5	△ 11	△ 14	
繰越利益剰余金等		558	518	465	430	452	485	526	543	564	576	571	560	
資本的収支	収入	企業債（借入金）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		他会計出資・補助負担金	162	185	163	155	157	162	165	158	152	136	119	106
		国庫補助金	24	50	20	28	63	63	25	28	63	63	25	28
		工事分担金	45	47	13	9	9	9	9	8	9	9	8	8
		工事負担金	6	36	40	3	3	3	3	3	3	3	3	3
		その他（貸付返却等）	0	239	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		収入計	237	557	336	195	232	237	202	197	227	211	155	145
	支出	建設改良費	420	479	427	326	485	504	314	325	504	485	404	391
		企業債償還金	384	393	387	379	391	403	400	385	373	339	303	274
		その他（投資・貸付等）	302	376	504	2	2	4	4	1	2	5	4	2
支出計		1,106	1,248	1,318	707	878	911	718	711	879	829	711	667	
資本的収支過不足		△ 869	△ 691	△ 982	△ 512	△ 646	△ 674	△ 516	△ 514	△ 652	△ 618	△ 556	△ 522	
予算収支		△ 937	△ 744	△ 1,017	△ 488	△ 614	△ 633	△ 499	△ 494	△ 639	△ 623	△ 567	△ 536	
資金収支		△ 273	△ 95	△ 419	73	△ 73	△ 106	26	17	△ 137	△ 121	△ 69	△ 38	
現金預金残高見込		2,365	2,075	1,920	1,899	1,810	1,705	1,745	1,755	1,602	1,474	1,428	1,381	
企業債残高		6,187	5,794	5,429	5,050	4,659	4,256	3,856	3,471	3,099	2,760	2,457	2,183	
投資有価証券等残高見込		364	500	900	900	900	900	900	900	900	900	900	900	
現金預金＋有価証券残高		2,729	2,574	2,819	2,799	2,709	2,604	2,644	2,655	2,501	2,373	2,327	2,281	

収支見通しの結果

水道施設の更新財源となる現金預金は、約5億4千万円の減少を見込んでいます。収支については令和8年度に赤字に転じると見込まれることから、令和8年度には水道料金の改定を検討しますが、料金値上げの先送りや値上げ幅の縮小となるよう経費の削減及び施設の統合や共同化などに取り組んでいきます。

	平成31年度末残高	令和10年度末残高
現金預金残高	19億2千万円	13億8千1百万円

今後4年間(計画期間)は水道料金を改定しない。

経営シミュレーション (料金改定をする場合)

恵那市水道事業収支計画		実績 ← → 推計											(単位：百万円)	
		H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
収益的 収支	収入	営業収益	1,228	1,222	1,228	1,222	1,215	1,207	1,199	1,191	1,183	1,290	1,281	1,272
		うち水道料金	1,213	1,208	1,204	1,198	1,190	1,182	1,174	1,167	1,159	1,266	1,257	1,248
		営業外収益	538	481	440	391	380	366	334	304	279	255	241	234
		うち長期前受金戻入	332	332	297	257	252	249	243	234	227	221	215	211
		経常収益	1,766	1,703	1,668	1,613	1,595	1,573	1,533	1,495	1,462	1,545	1,522	1,506
	支出	営業費用	1,657	1,634	1,591	1,491	1,471	1,450	1,442	1,409	1,393	1,384	1,374	1,367
		うち減価償却費	948	974	888	811	786	769	761	738	723	716	707	702
		営業外費用	144	121	112	100	91	82	73	65	57	51	44	40
		うち支払利息	123	114	106	92	84	75	67	58	51	44	38	33
		経常費用	1,801	1,755	1,703	1,591	1,562	1,532	1,515	1,474	1,450	1,435	1,418	1,407
経常損益		△ 35	△ 53	△ 36	23	32	41	18	21	12	110	103	99	
特別損益		△ 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
当年度純利益		△ 40	△ 53	△ 36	23	32	41	18	21	12	110	103	99	
繰越利益剰余金等		558	518	465	430	452	485	526	543	564	576	686	789	
資本的 収支	収入	企業債（借入金）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		他会計出資・補助負担金	162	185	163	155	157	162	165	158	152	136	119	106
		国庫補助金	24	50	20	28	63	63	25	28	63	63	25	28
		工事分担金	45	47	13	9	9	9	9	8	9	9	8	8
		工事負担金	6	36	40	3	3	3	3	3	3	3	3	3
		その他（貸付返却等）	0	239	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		収入計	237	557	336	195	232	237	202	197	227	211	155	145
	支出	建設改良費	420	479	427	326	485	504	314	325	504	485	404	391
		企業債償還金	384	393	387	379	391	403	400	385	373	339	303	274
		その他（投資・貸付等）	302	376	504	2	2	4	4	1	2	5	4	2
支出計		1,106	1,248	1,318	707	878	911	718	711	879	829	711	667	
資本的収支過不足		△ 869	△ 691	△ 982	△ 512	△ 646	△ 674	△ 516	△ 514	△ 652	△ 618	△ 556	△ 522	
予算収支		△ 937	△ 744	△ 1,017	△ 488	△ 614	△ 633	△ 499	△ 494	△ 639	△ 508	△ 453	△ 422	
資金収支		△ 273	△ 95	△ 419	73	△ 73	△ 106	26	17	△ 137	△ 6	45	75	
現金預金残高見込		2,365	2,075	1,920	1,899	1,810	1,705	1,745	1,755	1,602	1,572	1,640	1,707	
企業債残高		6,187	5,794	5,429	5,050	4,659	4,256	3,856	3,471	3,099	2,760	2,457	2,183	
投資有価証券等残高見込		364	500	900	900	900	900	900	900	900	900	900	900	
現金預金＋有価証券残高		2,729	2,574	2,819	2,799	2,709	2,604	2,644	2,655	2,501	2,471	2,539	2,607	